

平成27年度 現役チーム 近況報告

長野吉田高校
男子バスケットボール班
顧問 西澤 潤也

OBの皆様方には、日頃よりご指導やご支援を賜り、感謝申し上げます。
恒例となっております8月14日のOB・現役交流戦には、お忙しい中にも関わらず多くの方にご参加を頂き、現役チームに対し胸を貸して頂きまして、誠にありがとうございました。

8月末に行われました北信高校選抜大会は三位で大会を終えました。満足いく結果が残せない悔しさを糧として、今まで以上に頑張って参りたいと考えています。

常日頃からOB諸先輩方から激励の言葉を頂戴しております。ありがとうございます。また、様々な場面で諸先輩方が活躍されていることは、現役選手の励みとなっております。歴史と伝統のある輝かしい成果に少しでも近づけるように、高い目標を持って努力して参る所存です。今後も、変わらぬご指導とご鞭撻をよろしくお願いいたします。

吉田だより

長野吉田高校
バスケットボールOB会
クラブ便り編集
責任者：吉田知実
平成27年9月発行

- 《9月号目次》
- 現役チームの近況報告
 - 夏!!恒例のOB会開催
 - OB 会員からの報告
 - 吉田クラブ近況報告
 - 会費納入状況及び会費納入呼びかけ

【試合結果】

北信地区高等学校総合体育大会	2回戦	長野吉田高校	120	対	48	長野南高校
	準々決勝		96	対	98	市立長野高校
	順位決定戦		83	対	67	長野東高校
	5位決定戦		109	対	50	長野俊英高校
最終結果 5位						

長野県高等学校総合体育大会	1回戦	長野吉田高校	93	対	79	飯田高校
	2回戦		85	対	96	野沢北高校
最終結果 ベスト16						

北信地区高等学校選抜大会	2回戦	長野吉田高校	120	対	21	須坂創成高校
	準々決勝		95	対	57	長野高校
	準決勝		57	対	90	市立長野高校
	3位決定戦		102	対	81	長野日大高校

最終結果 3位 (10月11日~12日に行われる県大会に進出)

今年も、第4ピリオドまでのフルゲームが行われ、OBの人数が多かったため、二面を使ってにぎやかにゲームが進みました。一軍同士の対戦は、序盤、OBチームの流れで進んでいきましたが、後半から現役チームがスピードのある攻撃やアウトサイドシュートでじわじわと追いつか

光りました。今年も、第4ピリオドまでのフルゲームが行われ、OBの人数が多かったため、二面を使ってにぎやかにゲームが進みました。一軍同士の対戦は、序盤、OBチームの流れで進んでいきましたが、後半から現役チームがスピードのある攻撃やアウトサイドシュートでじわじわと追いつか

で、どのご家庭も忙しく参加しづらい日になりましたが、大勢のOBのみなさんが吉田高校体育館に集まり熱気にあふれた交流試合が行われました。今年には特に、現監督の西澤潤也先生の教え子である若いOBが大勢集まり、はつらつとしたプレイが光りました。



夏、恒例のOB会開催



れても、さすがはOBチーム。一気にリードは許さず、シーソーゲームが続きました。終盤になると、吉田クラブや県外で活躍している大学生などの活躍で何とかリードを保ち、OBチームが何とか勝利！

和やかな雰囲気で試合が行われたものの、現役チームからはOBチームを負かそうとする気迫を伺うことができました。また、OBチームのパワフルなプレイにも盛り上がりました。中にはイージーシュートをポロリ・・・などの珍プレイもあり、ベンチから厳しい激が飛んだり笑いが起きたりする場面もありました。OBチームのベンチには、例年来て下さる大先輩がいてくださり、世代を超えた交流ができました。

ゲーム終了後、集まったOBメンバー全員と現役高校生たちと全員で記念撮影。また、久しぶりに会った仲間同士で写真撮影する光景が多く見られました。みなさんいい顔でOB戦を終えることができました。

OB戦の後は、これまた恒例の「初湯」。お盆の忙しい時期で、昨年に比べるとかなり出席される方が少なく、澤潤也先生を囲みながら、少数精鋭にぎやかな会となりました。お酒を飲みながらも、吉田高校時代の話や、吉田クラブの話、お互いの近況報告など、熱い話で盛り上がりました。

二時間ほど初の湯での会が終わったところで、場所を長野駅前に移し、昨年度に引き続き、吉田クラブの懇親会が開かれました。昨年度は、県一般大会の優勝を記念しての祝賀会でしたが、今年度は惜しくも準優勝だったため、懇親会という形での開催でした。少ない人数ではありますが、引き続きにぎやかな会で、夏の楽しい一日となりました。

(文責 吉田知吏)

《OB会 フォトギャラリー》



全中に出場して

三陽中学校女子バスケットボール部顧問
塚田 和俊(四十二期卒業生)

お世話になっております。いつもクラブ便りを楽しく拝見させていただいています。現役チームの頑張りはもちろんのこと、吉田クラブの全国クラブ選手権出場や国体チームでも活躍しているOBたちの頑張りにも私も大きなエネルギーをいただいています。

この度、長年の念願叶って第45回全国中学校バスケットボール大会に出場することができました。その節は、諸先輩方、後輩の皆さんから沢山の激励のお言葉をいただき心から感謝致しております。ありがとうございます。

中学生にとって、また中学校指導者にとって「全中」は夢の舞台です。私も自身にとっても、ずっと思いはあっても現実的にはとても遠い場所でした。ひとつには出場校数の問題があります。全中に出場できるのは、ブロック大会を勝ち抜いたわずか24チームです。北信越ブロックでは、ここ何年も新潟県が優勢で、その新潟県勢に勝てる力をつけることが、全中出場の絶対的条件と考えていました。何年か前に、以前に全中に出場した先輩に「どうすれば全中に出場できますか？」と質問させていたことがありますが、その先生は、「私に次のように話してくれました。「大事な要素は4つある。1つ目は

選手が集まること。2つ目は指導者の指導力。3つ目は保護者の理解と協力。4つ目は学校の理解と協力。」なるほど、と思いました。今現在の中学校現場において、選手との出会いには偶然です。それなら自分ができることは何か、と考えるとやはり指導力をつけるしかない、とあたり前のことですが、自分自身の甘さに改めて気付かされました。幸い私の周りには、素晴らしい指導者の先生方が沢山います。まだまだ足りないことばかりですが、そのような先生方から多くのことを学ばせていただいたり、これまでに出会った生徒や保護者から教えていただいた事や経験させてもらったことが、私の財産になっっていることは事実です。

新潟県のような「高さ」や「うまさ」は残念ながら長野県にはありません。それならば、それをカバーできるだけの「強さ」を追求することが、私の指導のテーマになりました。ゲームの中で現れるプレイの強さ、それに必要なフィジカルの強さ、練習だけではなかなか身につかないメンタルの強さ。ここ何年かは、このようなテーマで子供たちと共に試行錯誤をしてきました。特にコンタクトについては、相手の高さやうまさを使わせないための大事なスキルとして、様々な練習をしてきました。まだまだ指導が徹底できていない面が多々あるわけですが、少なくとも北信越で戦うためになくはならないスキルだったと思っています。私にとって初めての体験となった北信

越大会準決勝(全国決め)は、新潟県1位の松浜中学校が相手でした。やはり新潟県を破らなければ全国はないと思いついていた通りの組み合わせになりました。相手のやりたいことをやらせないしつこいディフェンス、リバウンドに関わるコンタクトからのポジジョン取り、相手のタイトなディフェンスに対して仰け反らずに抜ききるフィジカルの強さやスキルなど、子供たちは、練習の中で意識してやってきたことを、一番大事な場面でも存分発揮してくれました。全中出場が決まった瞬間のゾクゾク感は忘れられません。

念願の全中ではありましたが、やはり大会に出場する以上は情けないゲームはしたくありませんでした。予選リーグを突破し、決勝トーナメントに進出することがチームの最終目標でしたので、北信越大会終了後から全中本番までの間の練習が最も難しいものでした。近くに練習相手がないことや、暑さや怪我の心配もありました。そのような状況の中で、モチベーションを下げずに十分な練習をやりきるノウハウが私には不足していたと思っています。全国の強豪校は、ブロック大会から全中本番までの間でさらにレベルアップをして日本一を目指してくるのだと思います。今までは、出場することだけを目標にやってきましたが、やはりそこで勝負できるだけのチームを作っていきたいと、私の中に新たな目標ができました。結果的に予選リーグで北海道ブロック1位の東月

寒、九州ブロック2位の北谷(沖縄)に2敗し、決勝トーナメント進出が叶わずに大会を終了しました。ブロック大会を勝ち抜き全国大会に出場するチームの強さとうまさを痛感しました。それとともに、全中という舞台の素晴らしさと、そこで勝負することを本気で目指す価値を改めて実感しました。

最後に、今回私たちが全中に出場できたこと、また出場するにあたって、学校や外部コーチ・保護者会の理解と協力はもちろん、県内外の顧問の先生方、子供たちの怪我のケアやコンディショニングにあたってくれた市川接骨院の市川央先生、これまでに共に頑張ってきた多くの教え子たちなど、様々な立場で心から応援をいただいた多くの方々のお陰であることに感謝し、この場をお借りして心から御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

ようやく新チームもスタートしました。これからも、力はありませんが、目の前の子供たちと一歩ずつ地道に進んでいきたいと思っています。そして、今度は全中で勝てるチームを作っていけるよう努力していきたいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。

吉田クラブ 全国社会人大会出場権獲得!

今年の二月に開かれた北信越クラブ選手権で準優勝した吉田クラブが、九月五、六日と新潟県新潟市で行われた全国クラブ選抜大会へ北信越代表として出場し、五位入賞を果たしました。その結果、十月末に徳島県で開催される全国社会人大会への出場権を見事獲得しました。

上がると、次に全日本社会人選手権へと駒を進め、その中で更に上位になると、来年一月に開かれる全日本総合選手権に出場することができる、ということになります。

吉田クラブは、県内での高校生の大会があったり仕事の都合だったり、フルメンバーで臨むことはできなかつたですが、限られたメンバーで協力しながら戦いました。大会の結果は以下の通りです。

今大会は、男子は上位七位までが全日本社会人選手権への出場権が得られるため、吉田クラブは五位という成績で見事出場権を獲得することができました。

この全日本社会人選手権は、十月三十一日(土)、十一月一日(日)に徳島県鳴門市で開催され、クラブチームの他に、教員チームが2チーム、実業団チームが6チーム、計十六チームで争われます。全日本選手権を目指して、ぜひ頑張ってくださいと思います。みなさんの応援、よろしくお願ひします。

今回吉田クラブが出場した「全日本クラブバスケットボール選抜大会」は、今年度で四回目となる大会で、全国各地で活躍するクラブバスケットボールプレイヤーが全国から集い、フェア精神に基づき、真摯にプレイする大会とし、バスケットボール技術の強化・普及の発展を計り、全日本総合選手権(オールドジャパン)に出場することを目標とした大会となっております。

従って、本大会で勝ち

【全日本クラブバスケットボール選抜大会 in 新潟市 9/5 (土)、9/6 (日) 試合結果】

1回戦 ○吉田クラブ 96 対 87 ●BEANS (中国地区1位)
 準々決勝 ●吉田クラブ 74 対 92 ○BUBBLES (近畿地区1位) →ゴールアベレージで5位決定戦へ
 5位決定戦 ○吉田クラブ 78 対 71 ●リゲルス (九州地区1位)

最終結果 5位入賞

H27 年度会費納入状況及び会費納入のお願い

[H27 年度会費納入者]

小林弘呼、小林和夫、戸津幸雄、宮原清、中村重美、橋詰武人、山岸宣明、石井栄二郎、星沢勝利、牧野菊實、中澤豊和、白谷秀明、藤澤和、柳沢守、柳見沢宏、和田哲男、藤澤賢一、佐藤良幸、広田信一、武井忠志、大屋康秀、伊藤幸広、久保勲、高池一昭、田中幸一、赤塚和夫、早川尚希、塚田壮一、竹村昇、村田啓一郎、綾部繁、山口正樹、小林和幸、山崎康志、伊藤治彦、野口麻友、小沼義博、蜜沢大輔、大内一志、吉澤匠、大屋秀作、吉田知実、山田潤、渡辺悠太、三澤賢、山田新、宮野内雄樹、武田透、中村星羅、塚田真司、平井慶、伊藤純一、市川尚道、小池翼、唐澤栄作、松島進之介、村田翔太郎、前島大樹、佐藤友助、小林翔輝、北原伊織、宮下和史、瀧澤柳介、西澤拓真、豊田浩貴、土山翔也、小林拓夢、平出勇太、塚田啓人、吉澤亮伍、矢島翼、綿貫天志
 (H27.9月現在 72名)

[納入方法]

1. 幹事等へ直接手渡し
2. 郵便局振込用紙にて納入
3. 八十二銀行振り込み
 ・支店名 長野市役所支店 ・普通口座 108461 ・長野吉田バスケットボールクラブ

ご協力 よろしくおねがいします。